

実績報告 別記第2号様式 別紙2の
テーマごとに作成してください。

別紙3
様式例 活動報告書

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1370448
施設名（園名等）	聖パトリック幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語遊び

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
当園では外国籍の子どもが増えてきており、また街中で会う機会も多くなってきた。
世界には日本人・日本語だけではないということを知り、異文化交流を楽しみ、英語に
親しむ為にこのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

令和7年 4月17日、5月15,29日、6月19,26日、7月3,10日、9月4,11日、
10月9,16,23日、11月20日、12月11日
令和8年 1月8,15日、2月19,26日、3月5,12日

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

自由に表現したり、身体を動かすことができるよう、また子ども同士の接触で怪我をすることのないよう十分な広さの環境を用意した。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等)

ゲームの中で、教師の声を一言も聴きもらさないように集中し、「(先生は)Giraffe ってたよ」「いや zebra だよ！」等と楽しみながらも自然と口から英語が出てくる子ども達の様子が見られた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・最初は見慣れない外国人の先生にドキドキしていた子ども達も、活動を繰り返すうちにすっかり打ち解け、皆が目を輝かせて参加するようになった。
- ・子ども達にとって言葉の壁は決して高いものではないのだと、改めて実感させられた。
- ・活動の中で自然に英語が口からこぼれる子ども達の様子が非常に印象的だった。

実績報告 別記第2号様式 別紙2の
テーマごとに作成してください。

別紙3
様式例 活動報告書

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1370448
施設名（園名等）	聖パトリック幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

体育遊び

<テーマの設定理由>

モンテッソーリ教育園で子ども達は多くの時間をモンテッソーリ教育の活動をして過ごしている。その為、時間を設けて運動活動を行い自らの身体を知り、仲間と協力する楽しさを味わう機会をつくった。

2. 活動スケジュール

令和7年 4月18,25日、5月2,9,16,23,30日、6月6,20,27日、9月5,12,19日、
10月3,10,24,31日、11月7,14,21,28日
令和8年 1月9,16,23日、2月20,27日



3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・子供たちが思い切り体を動かしたり、活動できる環境を整えた。
- ・ブリッジをする際は「お尻を上げたらみんなができてるか周りを見てみて」と教師が声掛けしたところ、お互いにできているかを確認し合い「できてるよ！」などと声が上がった。他の場面(逆立ちの活動)でも交代で活動を行う際には待っている子ども達から「〇〇ちゃん10秒できた！」など声上がり、子ども同士で学び合い、高め合う様子が見られた。
- ・教師のお手本だけでなく、一人の子どもを見本として行ったため、子ども達の注意が向きやすく、挑戦へのハードルも下がり、やる気が高まる様子が見られた。また、見本を行う子どもに自信や達成感が生まれ、クラス全体の意識や結束力も高まった。
- ・教諭は子供の主体性をもとに活動を展開し、見守ることを心掛けた。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ゲーム性や楽しい活動にすることで、運動の苦手な子も楽しみ主体性を持って活動に参加する様子が印象的だった。
- ・子どもが見本をすることで、自分ができるイメージが鮮明に持てる様で、「○○くんすごい！」と相手を尊敬すると共に、“自分もやるぞ！”というやる気に繋がる子ども達に驚いた。
- ・運動神経の有無ではなく、正しいやり方できちんと行えばできるということが分かった。今後も子ども達に分かりやすく伝えていきたい。

実績報告 別記第2号様式 別紙2の
テーマごとに作成してください。

別紙3
様式例 活動報告書

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1370448
施設名（園名等）	聖パトリック幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ダンス

<テーマの設定理由>

身体を動かすとどうなる？身体力を抜くとどうなる？身体を使ってどんなことが表現できる？普段無意識に使っている身体を意識的に動かしたり、表現に使うことを、子ども達と楽しみながら学ぶ為にこのテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

令和7年 4月28日、5月19日、6月2,16,30日、7月14日、10月6,27日、
11月17日
令和8年 1月19日、2月16日、3月9日

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

・身体を動かすという目的に集中できるよう、右が赤、左は青という環境を準備した。具体的には右の壁に赤い紙を、左の壁に青い紙を貼り、教師は子どもから見て右に赤、左に青のリストバンドを身に着けた。活動中は「赤の手」「青見て」など子ども達が視覚的に分かりやすいように工夫した。

・イメージを用いた動作の工夫。「ギターを弾く動作」や「キャンディーをあげる動作」など、動作に意味やイメージを持たせた。子供たちの想像力が刺激されたことで、表現がよりダイナミックになり、可動域も大きく広がった。活動中に子ども達は「僕はガムをあげたよ!」「先生にあげたよ!」などの声も上がり、想像しながら楽しんで表現する様子が見られた。

・また子供同士でダンスを見せ合う時間を設けた。友達の良さに気づき、刺激を与え合うことで、表現への意欲が一段と高まった。「手が伸びててよかった!」「ギターを本当に弾いてみたいだった! カッコよかった!」など子ども同士で感想を伝え合う様子が見られた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・最初は恥ずかしがっていたり、動作を真似することが難しい子どももいたが、イメージ用いた教師からの声掛けで思い切って表現する様子が印象的だった。
- ・頑張って身体を動かすだけでなく、身体の力を抜いて動かすことで、自分の身体を感じる子どもの様子に驚いた。
- ・誰かに自分の表現を見せるという機会により表現がより良くなったり豊かになる様子が見られた。